



ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント
In Celebration of UNESCO World Day for Audiovisual Heritage

『日本の娘』

〔デジタル復元版〕特別上映会

Special Screenings of *The Daughter of Japan* [Digitally Restored Version]

2019.10.26 SAT 12:00pm-、4:00pm- | トークイベント 1:50pm-

国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU 主催:文化庁、国立映画アーカイブ

国立映画アーカイブでは、本年のユネスコ「世界視聴覚遺産の日」(10月27日)記念特別イベントとして、日メコン交流年2019と来年のミャンマー映画生誕100年を祝し、日本とミャンマー(当時ビルマ)初の合作映画『日本の娘』(1935年、監督:ニープ、共同監督:枝正義郎 他)のデジタル復元版プレミア上映とトークイベントを開催します。映画遺産とともに両国の文化や歴史を改めて顧みる本イベントに、みなさまのご来場をお待ちしています。



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan



長瀬映像文化財団
国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。



ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント
In Celebration of UNESCO World Day for Audiovisual Heritage

『日本の娘』

〔デジタル復元版〕特別上映会

Special Screenings of *The Daughter of Japan* [Digitally Restored Version]



復元前



復元後

ビルマ人飛行士の兄弟(ニープ、ティンバー)が東京-ラングーン(現ヤンゴン)間のノンストップ飛行に挑むために来日。兄は日本人の恵美子(高尾光子)と恋におち、飛行計画と兄弟の仲にも暗雲がたれこめる…。

「ミャンマー映画の父」とも呼ばれるニープの監督・主演作。ニープ兄弟は1935年6月10日にビルマ初の観光団として、後にビルマ首相となる团长・ウーソーらと6名で来日。日本紹介を目的とした本作は、P.C.L.の提携で9月11日に本読み開始、東京羽田飛行場、目黒雅叙園、自動車競走大会、芦ノ湖など当時の貴重なロケ映像を豊富に収めて10月に完成、本国で公開され人気を博した(日本未公開)。本作は1992年にプリントが当館で発見された後、「につぼんむすめ」の題で上映されてきたが、今回のデジタル復元で映像の細部と音声が製作当時の題名とともに鮮やかに甦る。

*復元:令和元年度美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業 国立映画アーカイブ/デジタル修復:株式会社IMAGICA Lab.

◎会場 国立映画アーカイブ〔2階〕長瀬記念ホール OZU 定員=310名(各回入替制・全席自由席)

◎日時 10月26日(土) 12:00pm-, 4:00pm- *12:00pmの回は上映前に約15分程、来賓挨拶があります。一部関係者席となりますこと御了承ください。

1:50pm- トークイベント「『日本の娘』— 映画遺産の救済と保存にむけて」(仮)(60分)
登壇者:ティン・トゥット Thein Htut(俳優/監督、A1 Film Company)、オッカー Okkar(Save Myanmar Filmプロジェクトディレクター)
*逐次通訳付き、入場無料。上映をご覧になった方は、そのままご参加いただけます。

◎料金

[前売券・当日券] 一般 520円/高校・大学生・シニア 310円/小・中学生 100円

[当日券] 障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ 無料

※各回の開映後の入場はできません。※前売券の購入には、別途発券手数料がかかります。
※学生、シニア(65歳以上)、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は証明できるものを入場時に必ずご提示下さい。

◎前売券

10月5日(土)10:00amより、チケットぴあにて販売(各回150席分・全席自由席)します。

購入方法 [Pコード:550-487]

- ▶チケットぴあ店舗、セブン-イレブンで購入
- ▶受付電話(0570-02-9999)で購入*毎週火・水2:30am~5:30amはシステムメンテナンスのため受付休止となります。
- ▶チケットぴあのサイト(<https://w.pia.jp/t/nfaj-unesco2019/>)で購入
- *発券手数料等の詳細については、上記チケットぴあのウェブサイトをご覧ください。
- *前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

◎当日券

開館(11:00am)と同時にご希望回の入場整理券を1階ロビーにて発券します。発券は、お一人様各回1枚のみです。

当日券は入場時にお求めいただけます。定員に達し次第締切ります。

入場方法

①前売券をお持ちの方は、開場時(開映30分前)に、前売券に記載された整理番号順にご入場いただけます。②その後は、当日券の整理券をお持ちの方が、整理番号順にご入場いただけます。入場時に当日券をお求め下さい。前売券をお持ちの方は、開映前まで随時ご入場いただけます。*前売券・当日券は当日・当該回のみ有効です。開映後の入場はできません。

日本の娘 [デジタル復元版]

The Daughter of Japan [Digitally Restored Version]

(88分*冒頭の復元デモを含む・2K DCP・白黒)日本語字幕付き

1935(A1 Film Company)

監督=ニープ/共同監督=校正義郎 他

撮影=川谷庄平/録音=市川綱二

出演=ニープ、高尾光子、ティンバー、サンニユン

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」(10月27日)

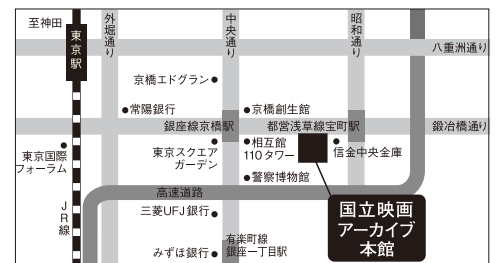
映画フィルム、テレビ番組、様々な録音・録画などの視聴覚遺産を保存し安全保護する事業や活動を推進し、その重要性を啓蒙するために、ユネスコが2006年に定めた国際記念日。ユネスコに属する視聴覚保存機関連絡協議会(CCAA)での決定を受けて2007年から世界で実施されている。なお、10月27日は、1980年ベオグラードで「映像の保護及び保存に関するユネスコ勧告」が採択された日。国立映画アーカイブが加盟している国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)でも、連盟をあげてこの日を祝うことを決定し、世界中の会員機関が記念イベントなどの事業に取り組んでいる。

ユネスコの視聴覚保存機関連絡協議会(CCAA)
による世界視聴覚遺産の日2019年の標語

Engage the past through
sounds and images
よみがえる過去、音と映像の力

fiaf

国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



〒104-0031 東京都中央区区橋3-7-6

交通: ○東京メトロ銀座線京橋駅出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

○都営地下鉄浅草線宝町駅出口A4から中央通り方向へ徒歩1分

○東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅出口より徒歩7分

○JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFAJホームページ: www.nfaj.go.jp

国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan